

身体運動科学演習

[演習] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 山口明彦 yama@hoku-iryo-u.ac.jp、西出真也 井上恒志郎

【概要】

身体運動科学、運動生理学、および神経生理学分野における研究手法として、特にヒトを対象とした解析技術（呼吸循環器系機能評価、中枢神経系機能評価）や動物を対象とした解析技術（生体サンプルの取り扱い、行動解析、遺伝子・タンパク質解析など）を身につける。

【学修目標】

運動科学分野の基本的解析技術を身につけるため、身体運動科学・運動生理学・神経生理学分野における基礎的解析手法を身につける。

1. ヒトを対象とした基本的解析技術（呼吸循環器系機能評価、中枢神経系機能評価）を実践できる。
2. 動物を対象とした基本的解析技術（生体サンプルの取り扱い、行動解析、遺伝子・タンパク質解析など）を実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	演習内容に関するオリエンテーションを行う	山口明彦 西出真也 井上恒志郎
2) 8	ヒトを対象とした解析技術に関する演習	身体運動科学分野における研究手法として、ヒトを対象とした基本的解析技術（呼吸循環器系機能評価、中枢神経系機能評価）について学習する。	山口明彦 西出真也 井上恒志郎
9) 15	実験動物を対象とした解析技術に関する演習	身体運動科学分野における研究手法として、実験動物を対象とした基本的解析技術（生体サンプルの取り扱い、行動解析、遺伝子・タンパク質解析など）について学習する。	山口明彦 西出真也 井上恒志郎

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポートによる評価を行う（100%）

【教科書】

特に指定しない

【参考書】

特に指定しない

【備考】

特に指定しない

【学修の準備】

関連分野の文献等、関係資料を各自調査し学習すること。（120分）

ヒトを対象とした解析技術について、予習と復習をする。（120分）

動物を対象とした解析技術について、予習と復習をする。（120分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目はリハビリテーション領域における臨床的課題に対し、医科学・心理学・社会福祉学などの学際的視点を取り入れながら科学的に分析・解決する能力を身につけている、研究成果を学術的に発信できる能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。